

重点取組分野の数値目標と達成に向けた取組

重点取組 の分野	R10（2028）年度の数値目標	令和 6 年度の取組	
		取組目標（令和 6 年 7 月時点）	取組状況（令和 6 年 12 月末現在）
動物福祉	動物福祉評価の全項目のうち「×：改善が必要」「△：改善の余地がある」と評価された項目の割合：全項目の 5％以下 (参考：R4（2022）年度評価：21.2%)	—	資料 4 のとおり 参考：R5（2023）年度動物福祉評価の全項目のうち「×：改善が必要」「△：改善の余地がある」と評価された項目の割合：34.0%
保全	放鳥・モニタリングするオオワシの累計数：5羽	令和 7 年度に第 1 回目の放鳥の実施を目指し、令和 6 年度は関係者等との合意形成、トレーニングケージの修繕及び資金調達に関する検討を行う。	放鳥の実施には、大型猛禽類の保全について広く道民の支持を得ることが重要であることから、シンポジウムを 2 回開催した。 1 回目：11 月 16 日、札幌、参加者 130 名 2 回目：11 月 24 日、釧路、参加者 85 名 また、野生復帰施設トレーニングケージの修繕を行った。
保全	認定動物園等への研修会実施件数：年 2 回	研修会は認定動物園に対し行うが、認定となった動物園はないため、研修会実施は未定。 令和 6 年度は準認定施設に対し、同施設が認定を目指すにあたり飼育マニュアルの作成を予定していることから、作成に関する必要な助言や情報提供を行うなどの連携協力をしていく。 また、認定動物園を目指す市内 1 施設について、令和 6 年度内の「準認定施設」登録に向けた協議・調整を進める。	認定となった動物園はないため、研修会実施の見込みはなし。 準認定施設の登録申請の状況等は資料 3 のとおり。
教育	園内イベントへの参加を通じて生き物と人との関わり の大切さを理解した人の割合：100％（イベント参加 者アンケート）	園内イベント等において、生き物と人との関わり の大切さへの理解を進めるプログラムの提供を行う。 ・動物観察プログラム「今日からザリガニ博士」 ・子どもの 1 日飼育係、等	・動物観察プログラム「今日からザリガニ博士」：5 回実施（4/13、5.23、7/28、9/29、10/20） ・子どもの 1 日飼育係：6 日間実施（7/13-15、8/10-12） ※アンケートは集計中。
調査研究	HP 掲載の調査研究報告書等の閲覧回数：毎年増加	調査研究報告書等を掲載するホームページを作成し、報告書等の更新を適宜行うことにより、閲覧回数の増加を目指す。	既存の「研究」ページを「調査研究」ページへと更新し、新たな情報を掲載。 https://www.city.sapporo.jp/zoo/others/research.html ※2024 年 12 月に「持効型インスリンで治療した飼育下の糖尿病のクロザル（ <i>Macaca nigra</i> ）の 1 例（日本野生動物医学会誌）」について掲載。
リ・クリエイション	円山動物園を他の人にも勧めたいと答えた人の割合：75％（来園者アンケート） (参考：R4（2022）年度 63%)	来園者に動物園の魅力をしっかりと伝えるべく、以下の取組を着実に実施していく。 ・円山 ZOO ガイド ・各種教育プログラム	・円山 ZOO ガイド 2.5 件／日（R6.4-12 月） ・飼料庫ガイド、獣医のお仕事など 13 の教育プログラムを延べ 199 回実施（R6.4-12 月） 円山動物園を他の人にも勧めたいと答えた人の割合：97％（R6.4-12 月平均）
リ・クリエイション	円山動物園にまた来たいと回答した人の割合：79％（来園者アンケート） (参考：R4（2022）年度 74%)	以下の取組により、来園者の観覧環境の充実を図り、左記数値の向上につなげる。 ・園内掲示・リーフレット等の見直し ・来園者から寄せられた意見等への速やかな改善・対応	4、11 月の休園週間に園内掲示物の一斉点検を行い、内容が古くなっている看板や展示サイン等を順次更新している。 また、来園者の意見をもとに、トイレ個室内への荷物掛けフックの設置や、まるっぱ遊具への順番待ち看板の設置等を行った。 円山動物園にまた来たいと回答した人の割合：97％（R6.4-12 月平均）
基盤整備	持続可能な運営手法の導入検討	経営基盤の安定化や基金の活用など持続可能な動物園運営の在り方について検討する。	持続可能な運営手法の導入検討に向け、他の動物園の事例調査等を開始した。
施設整備	園内施設の修繕必要件数：73 か所 (参考：R4（2022）年度 169 か所)	各案件の優先順位、修繕方法等を決め、修繕を進めていく	各案件の状態を把握し、優先順位・修繕方法を決め修繕を進めた。 (参考 R5 年度末 161 件、R6 年 12 月末現在 124 件)
施設整備	施設保全計画の策定	外壁や屋上防水、ポンプや照明などの設備の長期修繕計画策定に向けて、劣化調査等を実施していく。	施設保全計画の策定に向け、専門業者による劣化調査等を開始した。
施設整備	北海道ゾーン基本方針策定に向けた調査研究の実施	大学等との調査研究を進め、北海道ゾーンのコンセプトや取り組み内容、展示種や展示手法を検討していく。	園内担当者による検討会議を延べ 16 回実施し、北海道ゾーンにおけるコンセプト、飼育種、展示手法案を作成し、それを基に全体配置等の検討を行った。